

日本生殖看護学会 ニュースレター

No.
68

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)

目 次

・生殖看護認定看護師教育課程(B課程)の開講	1
・2023年度不妊症看護認定看護師ポストコース研修会報告	2
・ポストコース研修会：プレコンセプションケアと生殖看護 ー体重コントロールを支援し周産期へつなげる一歩へー 研修に参加して	2
・第14回生殖看護関西地区実践セミナー	3
・論文を投稿しよう！	3
・第22回日本生殖看護学会学術集会のご案内	4
・これから行われる学術集会・研修会情報(2024年7月～10月)	5
・不妊症看護認定看護師 リレー寄稿No.25	5
・2024年度生殖看護地区実践セミナー助成について	6
・訃報	6
・理事会報告	7
・事務局からのお知らせ	8
・会員数MAP	8
・原稿を募集しています！	8
・編集後記	8

生殖看護認定看護師教育課程(B課程)の開講

Hanabusa Women's Clinic・Osaka-shinai Gakuin University

Reproductive Health Care Education and Training center in Certified Nurse

上澤悦子・小松原千暁

不妊症看護認定看護師教育課程が2019年に休講後、5年間の準備期間が必要でしたが、2024年4月10日に英ウィメンズクリニック・大阪信愛学院大学生殖看護認定看護師教育研修センターとして、生殖看護認定看護師教育課程研修生15名による開講式、第1期生入学式を挙行了しました。

開講までには、関西地区CNやIVF-JAPANグループ医師の皆様から背中を押していただきつつ、経済的支援は英ウィメンズクリニック理事長 塩谷雅英氏から、教育機関は大阪信愛学院大学理事長からの支援が決まり、ようやく2施設協定開講という今までにない過程での開講となりました。

大阪信愛学院大学はカトリック系大学であり、入学式は、厳粛な聖堂でのパイプオルガン演奏下での研修生入場から始まり、塩谷センター長の式辞、来賓として大阪府看護協会長 弘川摩子氏、世界体外受精会議理事長 森本義晴氏、日本生殖看護学会副理事長 坂上明子氏から温かいご祝辞を賜りました。それらを受けて、研修生代表が、全員での主体的な1年間の学修を誓った宣誓を行い、締めくくられました。

本課程は、特定行為研修を含むB課程のため、研修生は、放送大学大学院の科目履修生として特定行為研修共通科目と日本看護協会の認定共通科目のe-ラーニングを自宅で受講しつつ、隔週木～土曜日は登校しての対面での専門科目講義を受講しています。研修生は全国から集まっていただきましたが、各施設状況も異なるなか、それぞれの臨床経験を活かして積極的な議論を展開しつつ、学びを深めている段階です。

生殖看護認定看護師は、不妊症のケアに留まらず、生育期全般でのセクシャル・リプロダクティブヘルスケア及び特定行為研修を修得した認定看護師として、生殖における身体的・心理的・社会的健康支援ができる専門職を目指しています。これから8月の集中講義、生殖看護認定科目実習、特定行為共通科目・区分別科目実習にむけて努力しています。

本課程の2025年度出願期間は10月1日から11月16日を予定しており、本学会HP、生殖看護認定看護師教育研修センター HP等で、9月初旬からご案内いたします。

生殖における健康課題・看護を共に学びあえることを楽しみにしております。

2023年度不妊症看護認定看護師ポストコース研修会報告

日本生殖看護学会教育推進委員会 野澤美江子

2023年度不妊症看護認定看護師ポストコース研修会「プレコンセプションケアと生殖看護－体重コントロールを支援し周産期へつなげる一歩へー」と題し、2024年2月3日(土)に開催されました。今回も、参加者の参加利便性を考慮しweb開催としました。当日は認定看護師30人を含む34人の皆さんが参加してくださり、ありがとうございました。

最初に、国立成育医療研究センターの三戸麻子先生より基調講演「肥満とプレコンセプションケア」について、中心となる概念の説明や母児転帰まで具体的なデータを示しながらご講演いただきました。その後、3人のスピーカーによるシンポジウム「プレコンセプションケアからコンセプションケアへ、現場での支援の実際」を行いました。管理栄養士の土田麻莉子先生より、栄養学的な視点で不妊治療期の支援の実際と題し、減量に向けた具体的な指導内容や方法についてお話いただきました。次に、不妊症看護認定看護師の永野妙子先生より、実際に関わった事例への関わりを通して体重コントロール支援の実際の難しさについて話をいただきました。最後は母性看護専門看護師の千葉貴子先生より、妊娠期の支援について具体的な関わり方や声かけの工夫などお話しいただきました。シンポジウム後、グループに分かれ、現場での実践や課題の共有・講演をふまえた発展的な内容についてディスカッションをしていただき、最後に発表し共有しました。

事後に入力いただいたアンケートでは、基調講演はとても良かったが80%・よかった20%と高評価で、シンポジウムも全員がとても良かった・よかったと回答、グループディスカッションでも93.3%がとても良かった・よかったと肯定的な評価でした。感想も多数記載されており、プレコンセプションケアやインターコンセプションケアについてエビデンスに基づいた知識を得る貴重な機会となったと多くの声が寄せられました。また、これまで難しいと感じていた体重コントロールについて多職種支援の必要性を実感し施設内で知識を共有していこうと、今後の示唆にもつながったものでした。

このように、今回の研修会はプレコンセプションケアが大切であることを再認識すると共に、それを不妊治療期においてどのように具現化したらよいのか、対象者の行動変容に移行できる意識改革および職員間の連携まで考える機会になりました。また、プレコンセプションケアは、その後のコンセプションケアにつながり、さらに次の妊娠に向けたインターコンセプションケアといったように、女性の或いは男性にとってもライフコースアプローチとして注目すべきことであります。ぜひ、今後の介入に活かしていただけると幸いです。

今回の研修会も、ホームページの広報から参加受付、当日の対応まで学会予算を使ってFamioneにご協力いただきました。皆様の対応がスムーズに行え、ホッとしております。また、web開催についても「便利・参加しやすい」と好評だった一方で、対面でないとディスカッションは難しいという声も挙がっています。covid19禍でweb開催に移行していましたが、学術集会とつなげての開催など次回以降の研修内容と共に方法も検討していきたいと思っております。引き続き、ご協力・ご支援よろしくお願いいたします。

.....

ポストコース研修会：プレコンセプションケアと生殖看護 －体重コントロールを支援し周産期へつなげる一歩へー 研修に参加して

日本医科大学武蔵小杉病院 不妊症看護認定看護師 / 助産師 舛谷寛子

立春を迎える前日、「プレコンセプションケア」という研修テーマに惹かれ参加をしました。

三戸麻子先生の講演「肥満とプレコンセプションケア」では、体重コントロールが不良なまま出産に向かうことは、母体だけではなく児のフィジカルに影響すること。授かった命をいかに守り、次世代の健康を考えて今できることは何か！というメッセージをきき留めながら、「健康なカラダに命は宿る」という言葉が浮かびました。現実には、準備状態が不安定なカラダにも命は宿ります。妊娠期間を安全・安心に歩むためにも、カラダづくりは永遠のテーマだと感じます。健康な生活習慣を築くための原点は「母」であり、そのためにはプレコンセプションケアが必要なこと。産後は次の妊娠のプレコンセプション期であり、次の妊娠をより良いものにするための「インターコンセプションケア」の視点を産後の退院指導に盛り込みたいと思いました。

さらにシンポジウムでは、管理栄養士、認定看護師、母性看護専門看護師/助産師の立場から、不妊治療、妊娠、出産に向けた体重管理の実践報告がありました。保健指導では、①対象が大切にしていることを見つける、②行動できる具体的なことを一緒に考える、③主体的に決定できるように支援する、④進捗状況を確認し承認するなど、行動変容の動機付けから行動選択に向け多職種が連携し、継続支援が大切であるという報告でした。

体重管理をkeywordに、妊娠・出産・育児を安全に伴走する役割として、看護職者がなすべきことがまだまだあると感じます。対象者との信頼形成や支援体制の継続など、人が人を支える仕組みは立場と人を替え、常に自分たちの周りに存在しています。まさにこのポストコース研修会も、認定看護師としてのモチベーションや課題を発見する場であることを感じます。自らも支えられており、企画運営の方々の愛を感じます。同士のみなさまとそれぞれが持つテーマに向けて、歩みを進めていきたい！ 決意新たに感謝をする1日となりました。

第14回生殖看護関西地区実践セミナー

【日 時】 2024年9月8日(日) 13:00～16:30

【開催場所】 TKPガーデンシティ東梅田 バンケット5A

【テ ー マ】 不妊に悩むカップルとともに
～不妊治療から治療終結までの意思決定支援～

【内 容】 講 演 ①

「不妊治療におけるコミュニケーションスキル」

講 師：杉本 公平先生

(獨協医科大学埼玉医療センター リプロダクションセンター長)

講 演 ②

「治療終結の可能性も視野に入れた看護支援」

講 師：小松原 千暁先生

(英ウイメンズクリニック・大阪信愛学院大学

生殖看護認定看護師教育センター専任教員)

グループワーク

不妊に悩む女性やカップルへの支援や課題を明らかにして実践につなげる

発表とまとめ

【参 加 費】 会員：500円 非会員：1,000円

【定 員】 70名

【申し込み方法】 申し込みフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/vGPA7vjE38cVDp288>

《申し込みフォーム》

【申し込み期間】 2024年7月1日(月)～2024年8月28日(水)

【問い合わせ先】 越田クリニック

藤島 由美子

fujishima@koshida-cl.or.jp



論文を投稿しよう！

第22回日本生殖看護学会学術集会における演題発表の準備を進めておられる皆様、過去の演題発表をまだ論文にしておられない皆様も、日本生殖看護学会誌に投稿してみませんか？

学会誌に論文が掲載されることは、生殖看護の質の向上につながります。さらに研究に協力して下さった方々へ感謝の気持ちを形に残すことにもなります。

査読が厳しいのでは…と思われるかもしれませんが、それは査読が研究指導とは異なる側面をもつため

です。査読者の助言を受けることは質の高い論文を作成するために不可欠な過程であり、投稿者にとっては研究内容を多角的に深める機会にもなります。

日本生殖看護学会誌 第22巻第1号への投稿締め切りは、**2024年11月22日(金)**です。投稿に関する詳細は、お手元の当学会誌や学会ホームページに掲載されている「論文投稿規定」にてご確認ください。

皆様からのご投稿を心よりお待ちしております！

編集委員会

第22回日本生殖看護学会学術集会のご案内

テーマ：生殖看護におけるダイバーシティ&インクルージョンー多様化する家族形成を考えるー
会期：2024年9月22日(日)
会場：昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)

学術集会では、生殖看護におけるダイバーシティ&インクルージョンとして、教育講演やシンポジウムをとおりして配偶子提供で親になることや、生殖技術で生まれてくる(きた)子の福祉を見据えたさらなる支援について考え、求められる生殖看護について語り合う機会にできれば幸いです。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(学術集会長 林はるみ)

学術集会プログラム (予告なく変更となる場合がございます)

● 9月21日(土)学術集会前日セミナー ※オンデマンド配信予定

13:00～	受付開始
13:25～	開会挨拶
13:30～14:50	講演「看護職が知っておきたいトランスジェンダー入門」★ 高井 ゆと里 氏(群馬大学情報学部 准教授)
15:00～16:30	講演「看護職が知っておきたいAMHのはなし」★ 岩瀬 明 氏(群馬大学大学院医学系研究科 産科婦人科学講座 教授)

● 9月22日(日)第22回学術集会 ※オンデマンド配信予定

09:00～	受付開始
09:25～09:30	オリエンテーション・開会挨拶
09:30～09:55	会長講演「生殖看護におけるダイバーシティ&インクルージョン」
10:00～11:00	一般演題(口演・質疑応答)※口演部分のみオンデマンド配信
11:10～12:10	教育講演「生殖技術と親になることー配偶子提供をめぐるー」★ 柘植 あづみ 氏(明治学院大学 教授)
12:20～13:20	ランチョンセミナー「不妊カップルにとって最適な治療環境を再考する」 ※オンデマンド配信なし
13:30～14:10	総会
14:20～15:05	一般演題(ポスター)※オンデマンド配信なし スポンサードセミナー「働く女性の健康課題における大規模調査を踏まえた支援ーオンラインサポートを通じて民間企業と看護をつなぐー(仮)」 ※オンデマンド配信あり
15:15～16:55	シンポジウム「多様化する家族形成と支援のあり方」★ なか さとみ 氏(卵子提供自助グループ「アン・ネフェ」代表) 森分 純子 氏(IVF大阪クリニック 看護師長) 杉本 公平 氏(獨協医科大学埼玉医療センター リプロダクションセンター教授) 才村 真理 氏(ライフストーリーワーク相談室 社会福祉士)
16:55～17:05	優秀演題表彰・閉会式

★マークのついているプログラムは、CLOCMipレベルⅢ認証申請の選択研修です。

●学術集会参加登録・参加費 ※1期、2期と参加費が異なりますのでご注意ください。

第1期登録締切：7月7日(日)12時 会員6,000円／非会員7,000円／学生(大学院生は除く)2,000円

第2期登録締切：8月25日(日)12時 会員7,000円／非会員8,000円／学生(大学院生は除く)2,000円

●お問い合わせ先

第22回日本生殖看護学会学術集会事務局
群馬大学ダイバーシティ推進センター内
〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2
E-mail: jsfn22th@academic-meeting.com

詳細は、第22回日本生殖看護学会学術集会HPをご覧ください。
<https://academic-meeting.com/jsfn22th/>



これから行われる学術集会・研修会情報(2024年7月～2024年10月)

月	日	学会・研修会名	会 場	学会HP／運営事務局
8 月	2日(金) ～4日(日)	日本遺伝カウンセリング学会 (第48回) テーマ：よりよい明日のために	一橋講堂 (東京都千代田区)	https://square.umin.ac.jp/jsgc48/ 株式会社MA コンベンションコンサルティング 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7 麹町パークサイドビル402 TEL：03-5275-1191 E-mail: jsjc48@mac.jp
	22日(木) ～23日(金)	日本受精着床学会(第42回) テーマ：ARTの発展と社会の調和	大阪国際会議場 (大阪府大阪市)	【運営事務局】株式会社コンベックス 〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9 BPR プレイス神谷町 TEL：03-3505-1608 FAX：03-3505-3366
	24日(土) ～25日(日)	日本思春期学会(第43回) テーマ：思春期の人々の力を信じ、 健康を維持する	神戸国際会議場 (兵庫県神戸市) ハイブリッド開催	https://www.pw-co.jp/43jsa2024/ 【運営事務局】株式会社プランニングウィル内 〒113-0033 東京都文京区本郷3-40-10 三翔ビル4F TEL：03-6801-8084 FAX：03-6801-8094
9 月	14日(土) ～15日(日)	日本家族看護学会(第31回) テーマ：いま、語り合おう！臨床家 の実践知、研究者の探究知、 そして家族の体験知 ～ダイナミックな融合をめ ざして～	鎌倉芸術館 (神奈川県鎌倉市)	http://jarfn31.umin.jp/index.html 株式会社MA コンベンションコンサルティング 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7 麹町パークサイドビル402 TEL：03-5275-1191
	16日(月)	日本性科学学会(第43回) テーマ：多様性とギャップを考える	札幌医科大学 臨床教育研究棟講堂 (北海道札幌市)	https://www.jsss43sapporo.com/ 【運営事務局】宮の森レディースクリニック 〒064-0822 北海道札幌市中央区北2条西28丁目 1-26 エストラダ円山2
	21日(土) ～22日(日)	日本遺伝看護学会学術大会 (第23回) テーマ：すべてのいのちのために 遺伝看護の絆を繋ぐ	清泉女学院大学 東口キャンパス (長野県長野市) オンデマンド配信あり	https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/idenkango23 【大会事務局】清泉女学院大学大学院看護学部 小児看護学研究室
	22日(日)	日本生殖看護学会(第22回) テーマ：生殖看護におけるダイバー シティ&インクルージョン -多様化する家族形成を考 える-	昌賢学園 まえばしホール (群馬県前橋市) オンデマンド配信あり	https://academic-meeting.com/jsfn22th/ 【学会事務局】群馬大学ダイバーシティ 推進センター 〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2
10 月	18日(金) ～19日(土)	日本母性衛生学会(第65回) テーマ：共創 ～持続可能な母子の健康を 目指して～	シーガイアコンベン ションセンター (宮崎県宮崎市)	https://www.congre.co.jp/jsmh65/ 【運営事務局】株式会社コングレ 九州支社 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-9-17-11F TEL：092-718-3531 FAX：092-716-7143 E-mail：jsmh65@congre.co.jp

不妊症看護認定看護師
リレー寄稿

No.25

Reproductive Well-Being

稲川早苗(聖路加6期生)

こんにちは。慈恵医大病院の稲川と申します。東邦大学大森病院の永野さんからバトンを引き継がせていただき、今私が一番大切にしていることについてお話しさせていただきます。

生殖医療の進歩により、子どもをもちたいと考えたときの選択肢は多様です。一方で、選択肢の多さやインターネットの普及にともなう情報過多により、治療選択が困難となっているケースが散見されます。こうしたとき、私は、個々人が持つ**Well-Being**を基準に、**自分の意思で選択**していくことが非常に重要であると考えています。人はそれぞれ価値観やWell-Beingの基準が異なり、個々に持つ基準をもとに自己決定することで、そのひとにとっての「正解」に近づくことができると考えます。さまざまな選択肢があっても、どれも育児を保証するものではありません。だからこそ私たち看護師は、患者のニーズを正確に把握すること、そして通院期間のみならず、その先の人生をも視野に、患者やパートナーの長期的な幸福感や充足感、つまりはReproductive Well-Being(生殖に関する良い状態)を追求することが最重要課題であり、看護の成果であると考えています。

今後は看護の成果を定量化できるよう、Reproductive Well-Beingの測定方法について検討をしていきたいと考えています。

バトンは東京医科大学病院の林崎さんにつながります。

2024年度生殖看護地区実践セミナー助成について

2024年度の生殖看護実践セミナー助成についてお知らせします。応募受付期間が例年と違って早まっております。詳細はホームページでご確認ください。また、助成申請の有無にかかわらず、セミナー企画の支援も行っています。些細な質問でも結構ですので、ご相談ください。ご応募お待ちしております。

教育推進委員会 jsfn.edu@gmail.com

2024年度生殖看護地区実践セミナー助成要項

【助成の趣旨】

日本生殖看護学会員による生殖看護の実践に関する勉強会を支援するために、セミナー運営費を助成し、日本生殖看護学会員サービスに寄与し、生殖看護の発展を図ることを目的とする。

【助成の対象】

会員個人または共同で開催する生殖看護地区実践セミナー企画者を対象とする。

【応募資格】

1. セミナー企画代表者は会員であって、会員歴2年以上である者。
2. 共同で企画する場合は、代表者以外の共同企画者もセミナー開催時に本学会会員である者。
3. セミナー予算案を日本生殖看護学会員と非会員の参加費に格差をつけ、作成していること。

【助成金】

助成金はセミナーの企画1件につき7万円を限度とし、当該年度の助成は3件までとする。

【助成期間】

2024年9月1日～2025年3月31日までの7か月間とする。

* 2025年度以降は、4月1日～翌年3月31日までの1年間の助成とする。

【応募方法】

1. 学会所定の生殖看護地区実践セミナー助成申請書に必要事項を記載し、学会教育推進委員会宛にメールで申請する。メールの件名は「日本生殖看護学会セミナー助成申請」とする。

2. 応募受付期間：2024年7月1日～
2025年1月31日

ただし、セミナー開催の2か月前までに応募する。

3. 申込先：日本生殖看護学会教育推進委員会
担当理事 野澤、中村、奥島
E-mail：jsfn.edu@gmail.com

【選考及び助成の決定】

教育推進委員会において選考の上、応募から1か月以内に、応募者にメールで通知する。

【助成金の使途】

セミナーの企画・運営に必要な講師料、物品費、旅費、通信・運搬費、印刷費などを含む。

【勉強会の成果の報告】

1. 助成を受けた者は、セミナー終了後、参加人数および成果、収支決算を教育推進委員会にメールで報告する。
2. セミナーの内容および成果は、ニュースレターに掲載する。

日本生殖看護学会の前身である「日本不妊看護ネットワーク」の設立から学会の立ち上げ、第8回日本生殖看護学会学術集会長を務められました岸田佐智先生がお亡くなりになりました。

岸田佐智先生を偲んで

茨城県立医療大学 長岡由紀子

岸田先生は令和6年5月18日にご逝去されました。突然の訃報に驚きと悲しみで一杯です。最後にお目にかかった時にはお元気そうでしたので、お変わりなくお過ごしのことと信じておりました。

私が先生を知ったのは、修士論文「体外受精適応となった不妊女性の対処行動」を拝読したのがきっかけでした。当時、院生だった私は、不妊看護に関する研究をしたいと思いながらもテーマが絞れず、聖路加の図書館に納本されていたこの論文に感銘を受けたことを鮮明に覚えています。その後、本学会の前身である「日本不妊看護ネットワーク」の設立メンバーとして一緒させていただく機会がありました。錚々たる先生方を前に恐縮していた私に、岸田先生はとても気さくに声を掛けてくださいました。それからは、プライベートでも親しくしていただき、人生相談に乗っていただいたり、研究へのアドバイスをいただいたりと公私ともに大変お世話になりました。先生は気配りや気遣いがお上手で、その真摯なお人柄と素敵な笑顔に魅了されたことは言うまでもありません。

高知での告別式に参列させていただいた際、多くの人々に信頼され、愛され、最期はご入院中でありながらも全てご自身で段取りをつけるなど、先生らしいご立派な旅立ちであったとお聞きしました。

あまりにも早すぎるお別れで心残りが多すぎますが、今はせめて先生にお返しできなかったご恩を、何かの形でお返ししていきたいと思っております。心よりご冥福をお祈りいたします。

理事会報告

第3回臨時(書面)理事会

日 時：2023年12月14日(木)

場 所：書面による

出席者：上澤，森明，實崎，坂上，清水，奥島，中村，
野澤，小松原，村本，崎山

欠席者：森恵

【審議事項】

1. 日本生殖看護学会 理事および監事の選出規程(改正案)について
上記規程の改正案を承認
2. 選挙管理委員3名の委嘱について
下記の委員3名を承認
五十嵐ゆかり(再任：2期目)
有川淑恵(再任：2期目)
青木恭子(新規)

第4回臨時(書面)理事会

日 時：2024年1月27日(土)

場 所：書面による

出席者：上澤，森明，實崎，坂上，清水，奥島，中村，
野澤，小松原，村本，崎山

欠席者：森恵

【審議事項】

1. 入会審査：1名の再入会と4名の入会を承認
2. (株)ファミワン様からの後援依頼「夏休みスペシャル！子ども性教育2024」について

第2回Web理事会

日 時：2024年3月1日(金) 18:00～20:29

方 法：Zoom

出席者：上澤，小松原，坂上，崎山，實崎，清水，
村本，森明，野澤

遅 刻：奥島，中村

欠席者：森恵

オブザーバー：波崎，林(敬称略)

【報告事項】

1. 波崎学術集会長より、第21回日本生殖看護学会学術集会収支決算監査報告
2. 林学術集会長より、第22回日本生殖看護学会学術集会進捗報告
3. 教育推進委員会：野澤理事より、2023年度不妊症看護認定看護師ポストコース研修会報告
4. 広報委員会：崎山理事より、
・ニュースレター No.67の発行について
・メーリングリスト作成の進捗状況について
5. 編集委員会：實崎理事より、21号1巻の進捗状況について報告
6. 将来検討委員会：坂上副理事長より、
・2024年度将来検討委員会主催研修会の報告
・プレコンセプションケア動画について
7. 実践開発委員会：小松原理事より、
・Fine祭りのアンケート結果が報告
・CNメーリングリストの管理について報告
8. 看保連対応WG：森明子理事より、第1回看護技術

検討委員会(2/26)の報告、第1回看護あり方委員会は3/12開催予定

9. 健やか親子21推進協議会WG：坂上副理事長より、健やか親子21推進協議会のHPを学会でどのくらい活用できているかのアンケート調査が行われたことが報告
10. 総務：森明子理事より、理事及び幹事の選出規程2023年12月改正(修正版)について
11. その他：上澤理事長より、生殖看護認定看護師の教育課程について報告

【審議事項】

1. 坂上副理事長より、2024年度研究助成金公募について説明
2. 坂上副理事長より、CNの研究勉強会の支援について説明
3. 坂上副理事長より、会期の変更及びこれに伴う会費の変更について説明
4. 實崎理事より、学会誌の電子化について説明
5. 小松原理事より、実践開発委員会主催の会員限定のオンライン交流について説明
6. 森明子理事より、選挙に関する申し合わせについて説明
7. 森明子理事より、入会審査の対象者について説明され、2名の入会を承認
8. その他
・坂上副理事長より、メーリングリストをどのように活用していくか方針を決めた方がよいのではないかと提案があり、決めることになった

第5回臨時(書面)理事会

日 時：2024年4月5日(金)

場 所：書面による

出席者：上澤，森明，實崎，坂上，清水，奥島，中村，
野澤，小松原，村本，森恵，崎山

【審議事項】

1. 入会審査：1名の再入会と4名の入会を承認

第6回臨時(書面)理事会

日 時：2024年4月26日(金)

場 所：書面による

出席者：上澤，森明，實崎，坂上，清水，奥島，中村，
野澤，小松原，村本，森恵，崎山

【審議事項】

1. 入会審査：8名の入会を承認

第7回臨時(書面)理事会

日 時：2024年5月24日(金)

場 所：書面による

出席者：上澤，森明，實崎，坂上，清水，奥島，中村，
野澤，小松原，村本，森恵，崎山

【審議事項】

1. 地区実践セミナー助成に関する助成期間及び応募期間の変更を承認
2. 入会審査：5名の入会を承認

事務局からのお知らせ

1. 第22回学術集会、編集委員会への問い合わせは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
2. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、ホームページ、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailで、気軽にご連絡ください。
3. 学会の2023年度年会費は8,000円です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めをお願い申し上げます。
4. 異動・転居された方は必ずホームページのマイページから住所・勤務先変更してください。また、メールアドレスの変更も同様にマイページからお願いいたします。変更が出来ない方は事務局にご連絡ください。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌、その他情報をお届けすることができませんのでご協力お願い申し上げます。
5. 会員数343名(2024年5月31日現在)です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、

お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。また、ホームページ画面から入会申込みができます。

日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing: JSFN

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22

東京工科大学医療保健学部看護学科内

E-mail: jsfnjimu@gmail.com

ホームページ <https://jsfn.org>

ゆうちょ銀行(振替)

口座番号: 00170-2-333413

加入者名: 日本生殖看護学会

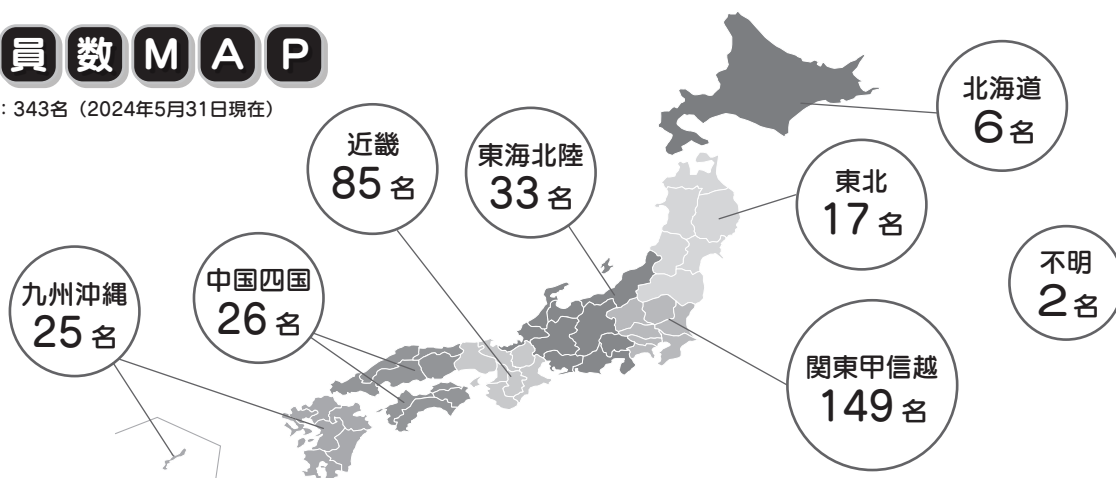
ゆうちょ銀行(振込)

〇一九(ゼロイチキョウ)店(019) 当座0333413

口座名義: 日本生殖看護学会

会員数MAP

会員数: 343名(2024年5月31日現在)



原稿を募集しています！

ニュースレターを通じて実践活動や勉強会などの情報を共有しませんか？掲載を希望される方は日本生殖看護学会事務局(jsfnjimu@gmail.com)までご連絡ください。次号の原稿締切日は、2024年9月27日(金)を予定しています。

編集後記

今年の夏はパリでオリンピックが開かれます。東京開催から4年が経ったとは、早いものですね。今年の学術集会は群馬で開催されます。たまにはのんびりと温泉に浸かり、温泉成分と知的刺激を吸収したいものです。

広報委員会 崎山貴代、阿部正子、小池弘子